

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年12月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	0170503106		
法人名	株式会社 フロイデプランニング		
事業所名	グループホーム けあふる		
所在地	札幌市南区藤野3条4丁目13番2号 (電話) 011-593-1112		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年11月29日	評価確定日	平成20年2月7日

【情報提供票より】(19年11月22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年3月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤14人, 非常勤1人, 常勤換算15人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000円	その他の経費(月額)	水光熱費 20,000円
敷金	有(72,000円)		暖房費11~3月12,000円
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,350円		

(4) 利用者の概要(11月22日現在)

利用者人数	18名	男性 10名	女性 8名
要介護1	2名	要介護2	5名
要介護3	6名	要介護4	4名
要介護5	1名	要支援2	
年齢	平均87.2歳	最低 61歳	最高 91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	五輪橋内科病院・川沿中央医院・中村記念病院 愛全病院・もなみクリニック・小笠原クリニック札幌病院・ときわ病院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市の郊外の住宅街に立地し、リビングを中心にした回廊式のホーム内は、床暖房、特殊浴槽、玄関周りの造作など随所に機能低下を補う工夫や配慮があり、安心感のある落ち着いた住まいになっている。医療機関との連携も良好で、訪問診療や看護、複数の看護職員も配置され、日常の健康管理のサポート体制は充実している。代表者も積極的に運営に参加し、また職員も互いに学びあいながら、家庭的な環境の中でその人らしい自由で尊厳ある暮らしが営めるよう、良質のケア提供に日々取り組んでいる。ホーム内の思い思いの場所でゆっくりと寛ぐ利用者の姿が見受けられ、温かな心の交流を大切にしたいホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の改善項目「食事を楽しむことのできる支援」は改善されており、職員が利用者と一緒に食事をし、介助をしたり会話を楽しんだりして和やかな雰囲気である。地域との係わりについては、まだ、十分ではなく、今後の取り組みに期待する。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 評価の意義、目的を理解しており、ミーティングやユニット会議で、自己評価や改善策などについて話し合い、職員間での共有を図っている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、町内会長などに働き掛けを行なっているが、まだ実施されていない。早めに推進会議が開催されることを期待する。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族との関係は良好で4ヵ月に1度の「ホーム便り」のほか、毎月利用者の家族に「お便り」を送付し、ホームでの生活情報を提供している。家族からの意見要望を受けた際はミーティングにて話し合い、日々のケアサービスに反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入しているが、地域との連携が十分とは言えない、町内の行事やホームでの行事などの交流の中で、利用者の暮らしが、より豊かなものとなるよう期待する。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開所以来、事業所独自の運営理念を掲げて、理念の達成に向けて日々努力をしているが、地域密着型サービスのイメージに不足感がある。	○	これまでの理念に加え、地域密着型サービスの意義を全職員で確認し、地域の一員として人間関係を築き交流を深める理念をパンフレットにも掲げ、事業の方針目標に反映させる取り組みを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝、夕の申し送りやカンファレンスの際、運営理念を元に話し合いをし、その実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しているが地域との交流が十分とは言えない。	○	事業所は、町内の集会や行事に積極的に参加をしたり、ホームの行事にも参加をして頂けるよう働き掛けをし、地域とホームの絆の強化に努めるよう望みたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義、目的を理解しており、ミーティングやユニット会議などで前回の改善項目や自己評価について話し合いをし、職員間での共有を図っている。		

札幌市南区 グループホーム けあふる

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はまだ開催されていない。ホーム側は会議を勧めようと努力をしているが、町内会長の理解が得られず実施できない状況である。	○	引き続き、地域に働き掛けを行ない早めに会議が開催されることを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者は、区の会議に参加をしたり、市の担当者への連絡など積極的に行ない、常に連携を図り、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年4回の「ホーム便り」のほか、毎月利用者家族にお手紙を郵送し、ホーム内の生活情報を提供している。預り金収支については、明細、領収書の送付を希望する家族へのみ郵送している。	○	金銭関係については、希望者のみに領収書を郵送しているが、希望ある、ないに係わらず全員に領収書を郵送することが望ましい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との関係は良好で、来訪した際に家族からの意見、要望などを伺ったり報告したりしている。第三者の苦情窓口も明確にし、意見苦情なども表せる機会を設け、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員異動の際は、全職員でフォローをし、利用者のダメージを最小限にするために検討し対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、外部研修を受ける機会を設けており、研修記録も作成し、職員が閲覧できるようになっている。内部研修も行なわれており、訪問医師の講演会を開催したり、勤務終了後に運営者初め全職員が参加しての勉強会も行なわれている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	一部同業者との交流はあるが、連携を行なえるようなネットワーク作りまでには至っていない。	○	運営者は、管理者や職員が、同業者との勉強会や意見交換など交流する機会を設け、相互の活動を通じてサービス、質を向上させていく取り組みを期待する。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者、家族に見学に来ていただき、ホームの雰囲気馴染めるよう、利用者が安心して生活ができるように十分話し合いを持ちながら進めている。		
zyy					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活において利用者と食材の買物に行ったり、おやつ作りを利用者から教えて頂いたり、作ったりしながら利用者の気持ちを汲み取り、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや希望の把握に努め、その人らしい生活を過ごせるよう支援し実践している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常的に行なわれている意見交換やカンファレンスで職員の気づきを集約して介護計画に反映させている。また、家族から意見などを聞き、利用者本位のための計画を作成し、実践している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヵ月ごとに見直しを行なっている。状態に変化が生じた場合は、カンファレンスなどで話し合いをし、随時見直しを行なっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の要望に応じ、通院介助や買物に付き添うなど、その時々で柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間対応の医療機関があり、週1回の訪問看護や掛り付け医の受診を実施している。ホームには、看護師もおり利用者が適切な医療を受けられるように支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合における対応指針を作成している。体調の変化に伴い、利用者、家族、医師を交えその都度確認をしながら、繰り返し話し合いを持ち、今後の対応方針について慎重に取り組みをしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライドを傷つけないような言葉掛けを行なっている。個人情報も利用者、家族の同意を得ており書類なども保管場所を決めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの声に耳を傾け会話を大切にしている。その日の状態や希望に合わせ、できる限り日々その人らしい暮らしが営めるように見守り支援をしている。		

札幌市南区 グループホーム けあふる

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も利用者と一緒に食事をし、ミキサー食の方もおり介助をしている。会話も自然に行なわれており和やかな雰囲気である。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴となっているが、利用者の希望や健康状態などに配慮し、タイミングに合わせての入浴支援を行なっている。1階には特殊入浴の設備も整っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の生活歴を把握し、散歩や食材の買出し、体操や編物、おやつ作りなど利用者が得意とすることをさりげなく見守り支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くに建てられている同系列のホームまで散歩に出掛けたり、さくらんぼ狩り、花火大会、夏祭り、ホーム前でのバーベキューや芝生でお茶を飲んだり、気分転換ができるよう支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けておらず夜間のみ施錠をしている。食堂から玄関の出入りがわかり、職員の目が行き届くようになっている。		

札幌市南区 グループホーム けあふる

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	4月と10月に消防署協力のもと、避難訓練を実施している。訓練記録や救助袋も備えてあり、ホーム独自の「消防設備、日常自主検査表」があり、毎日職員がチェックをしている。災害時の地域との協力体制はまだ整っていない。	○	災害に関してはまだ取り組みがされていない。緊急時には地域の協力が不可欠であり、地域との連携を図りながら災害対策への対応を期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事、栄養バランスを考えた食事の提供をしている。一日の食事量、水分の摂取量など記録して、適切な支援ができるよう配慮がされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング内の飾り付けも華美ではなく、室温や音、光など五感刺激への配慮もされており家庭的な雰囲気である。回廊式になっており利用者は心地よい共用空間の中でゆったりとした暮らしが営まれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室には、使い慣れた家具や趣味のものなどが持ち込まれ、利用者が安心して暮らせる配慮がされている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。